

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機ウェルプラグ調査結果のうち、スミヤ採取データの記載箇所の入れ違いについて】 9月26日の中長期ロードマップ進捗状況についての会見で公表した1号機ウェルプラグ調査結果(スミヤ採取)のデータのうち<math>\alpha</math>線(アルファ線)放出核種の記載箇所の入れ違いを確認。 原因は、スミヤ採取時に使用した測定記録用紙と公表用資料の様式の関係性が分かりにくかったことにより、公表用資料の作成者がデータを入れ違えて記載したものと推定。 なお、当該分析データは、ウェルプラグの処置方針を検討するために使用するものであり、プラントの安全性や環境評価へ使用するものではない。</p>	GⅢ	11月14日
2	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(6A)室の空調ダンパ作動用空気の微小な漏えいについて】 6号機非常用ディーゼル発電機(6A)室の空調ダンパ作動用空気の計装配管継手部からの微小な空気の漏えいを確認。 空気の漏えい量は微小であり、機能に影響が無いことを確認。 原因は、継手部の緩みと推定。 計装配管の継手部を修理予定。</p>	GⅢ	11月14日
3	<p>【6号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室の空調ダンパ作動用空気の微小な漏えいについて】 6号機高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機(6A)室の空調ダンパ作動用空気のルブリケータ※からの微小な空気の漏えいを確認。 空気の漏えい量は微小であり、機能に影響が無いことを確認。 原因は、ルブリケータの油調節ネジの緩みと推定。 ルブリケータの油調節ネジの増し締めを実施予定。 ※ルブリケータ:潤滑油を霧状にして空気中に混入させ、機器、配管などに潤滑剤を供給する装置</p>	GⅢ	11月14日
4	<p>【G3エリアF1タンク水位計の指示値不良について】 G3エリアF1タンクの水位計に指示値不良を確認。 連結しているタンクの水位計で水位監視可能なため、設備の運転に影響なし。 水位計の点検を行い、現在、指示値は正常に復帰。</p>	GⅢ	11月16日
5	<p>【1/2号機排気筒解体工事における解体装置からの装置挿入ガイドの落下について】 1/2号機排気筒解体工事における解体装置設置中に、装置を筒身内部に挿入した際に装置と筒身の振れを緩衝する挿入ガイド全4箇所のうち1箇所が落下した。 人身、設備への被害はなし。 原因は、解体装置設置の際、強風により装置が振れ、挿入ガイドが筒身に過大に接触したためと推定。 対策を検討中。</p>	GⅢ	11月15日